

行政懇談会 次第

日時：令和7年7月31日（木）
19時～20時30分
場所：北丘ハイツ集会所

1. 開会のあいさつ
2. 町長あいさつ
3. 自治会長あいさつ
4. 質問及び提案の回答
5. 質疑応答
6. 閉会

メモ

■行政懇談会日程・参加者名簿

【令和7年度】

自治会		北丘ハイツ自治会	自治会からの要望
開催日		7/31(木)	
時 間		19:00～20:15	
場 所		北丘ハイツ集会所	
三役	町長	○	
	副町長	○	
	教育長	○	
経済建設部	経済建設部長	○	【まちづくり振興課】 ④新川斜面の木々の伐採と整備について ⑤新川斜面の雨水処理について ⑥南風原バイパス橋桁下の利用について ⑦交差点の停止線とカーブミラーの設置について ⑫ハイツ内通学路の整備について 【産業振興課】 ⑪高齢者が働ける場所の提供について
	まちづくり振興課長	○	
	都市整備課長		
	区画下水道課長		
	産業振興課長		
総務部	総務部長	○	【総務課】 ①下水処理場跡地売却益返還について ②集会所移転について ③運動公園の整備について ⑧運動公園のパトロール強化について ⑨広報活動の強化と掲示板の設置について ⑫ハイツ内通学路の整備について
	総務課長	○	
	住民環境課長		
	企画財政課長	○	
	税務課長		
民生部	民生部長	○	
	こども課長		
	保健福祉課長	○	
	国保年金課長		
教育委員会	教育部長	○	【教育総務課】 ④新川斜面の木々の伐採と整備について 【生涯学習文化課】 ⑩子ども会再開と支援について
	教育総務課長	○	
	学校教育課長		
	生涯学習文化課長		
議会事務局長		○	
	会計課長		司会
	環境施設組合課長	○	
	介護保険広域連合課長		

北丘ハイツ行政懇談会 質問と回答 【全質問】

質問1 下水道処理場跡地売却益返還について

北丘ハイツは県住宅供給公社により分譲された。分譲当時、下水道などの生活インフラ等の開発総費用を分譲価格に含めて販売されたと認識している。

今回、兼本ハイツにおいて下水道処理場跡地が公社から町へ譲渡され、その後町から兼本ハイツへ無償譲渡されたのち、売却益を集会所の改築費用に充てたと聞いた。

一方、北丘ハイツ内の下水道処理場跡地は、公社が宅地として販売し、北丘ハイツには販売益が還元されていない。北丘ハイツ集会所は危険箇所を設置されていることから移転を希望しているが、兼本ハイツと異なり下水道処理跡地の販売益を資金の一部に充てることができないことに対し、不公平感と憤りを感じている。公社は下水道処理跡地売却益を北丘ハイツに返還し、集会所移転に資するべきと考えるが話し合いが難航しているため町に協力を要請する。

(1)公社及び県に対して売却益返還の要請を行っていただきたい。

当該跡地は、県住宅供給公社が所有し、これまでその開発および管理を担ってきた資産であることから、その処分および売却益の取扱いについては、公社が主体的に判断し、対応されるものと認識しております。

町といたしましても、これらの売却益について町が返還を求めるための法的な権限や根拠を有していない状況です。

質問 1 下水道処理場跡地売却益返還について

(2)兼本ハイツと北丘ハイツの下水道処理跡地譲渡について、町の見解を伺いたい。

ご質問のとおり、兼本ハイツにおいては下水処理場跡地が町へ譲渡された事例がございます。一方で、北丘ハイツの当該用地は県住宅供給公社から町へ譲渡されておらず、その処分につきましては、公社の判断において行われたものだと認識しております。

質問 2 集会所移転について

北丘ハイツ集会所は災害時避難施設として指定されているが地滑り危険区域のふもとにあり、災害リスクが高く危険である。老朽化も含め機能は万全でないため、安全な活動拠点としての集会所設置を要望している。具体的には運動公園への移転が良いと考えるが、町の見解を確認したい。

(1)災害時避難施設である集会所が地滑り危険区域にあることから移転が必要と考えるが、町はどのように考えるか。

ご指摘のとおり、北丘ハイツ集会所は土砂災害警戒区域に位置しており、地震等の災害時の安全確保に向けて、より安全性を高める必要があると認識しています。

ご提案の運動公園は地滑り区域外であることから移転先には適していると考えます。ただし、土地の所有権移転や自治会の財産所有の条件整備などいくつかの課題もあると認識しており、今後は町との協議が必要になると考えております。

質問2 集会所移転について

(2)移転の場合の建設費に関する方法を確認したい。

自治会集会所の建設につきましては、その時々により利用可能な有利な補助金等を活用して整備を行っております。事例として、「コミュニティ助成事業補助金」及び「町自治公民館建設等事業補助金」の活用があります。

原則として補助額は、対象経費の5分の3以内、限度額を5,000万円と設定しております。

なお、旧施設の解体費や外構工事にかかる費用は、自治会の負担となります。

質問3 運動公園の整備について

ハイツ運動公園は芝生の劣化や地面のでこぼこにより安全性が著しく低下している。特に子どもの遊び場として危険な状態であり、砂をまくなどの応急処置では対応がしきれない。

(1)自治会の予算で整備するには限界があるため、ぜひ町で整備してほしい。

町内には北丘ハイツを含め、宅地分譲に伴い設置された公園等が多数あり、これらは地域住民の身近な憩いの場として活用されることを目的に、地域の皆様に維持管理及び整備を行っていただいております。ただし、町としましてはその負担を軽減するため、子どもの遊び場として活用されている公園等に対し、遊具の設置や遊び場整備などに活用できる補助制度を設けております。

質問4 新川斜面の木々の伐採と整備について

ハイツ集会所南側の新川斜面は樹木が繁茂し、大雨時は斜面から鉄砲水が流れ込み危険である。また、高所作業となること及び公社・個人地主・町と所有者が分かれていることからハイツ住民による伐採・整備には限界がある。

(1)現在、介護施設とき傾斜面は対策工事をしているが、住民の安全確保のため新川斜面一帯の木々を伐採あるいは整備できないか。

介護施設とき周辺は、令和元年に地すべり防止区域に指定され、沖縄県により現在対策が進められている箇所です。今年度は、県において抑止工の実施が予定されており、時事前準備として草木の伐採を進めているところです。

北丘ハイツ集会所の南側は、事業完了箇所となっておりますが、草の繁茂や排水口の土砂堆積・詰まり、一部破損が確認されており、排水機能の低下によって、大雨時に民地への雨水が流入や土留め構造物への影響が懸念されます。こうした状況を踏まえ、事業完了箇所から現在対策事業実施箇所までの区間において、樹木伐採と合わせ、今後の維持管理も含めた対策を沖縄県に要請いたします。

併せて、土地所有者に対しても適切な維持管理を行うよう促してまいります。

質問4 新川斜面の木々の伐採と整備について

(2)北丘小階段の斜面が町所有地のため、定期的に伐採・整備をしてほしい。

北丘小階段周辺の木々の伐採等につきましては、隣接する住宅等に迷惑が掛からないよう、伐採等対応してまいります。

質問4 新川斜面の木々の伐採と整備について

(3)北丘小階段の手すりの一部が腐食し危険であるため修理してほしい。

北丘小階段の手すりにつきましては、腐食箇所を鋼材等で補修し7月19日に修繕を完了しております。

質問5 新川斜面の雨水処理について

新川斜面下の擁壁に面する住宅は、新川斜面の集水枡や側溝が草木や土砂で頻繁に詰まることが原因で敷地内へ大量の土砂が流れ込み大変危険である。過去には消防署が出動し、草木や土砂の撤去を行ったが一時的な措置であり、定期的な点検と撤去作業が不可欠である。防災の観点からも新川斜面の雨水処理の修理が必要である。

(1) 現在の所有者による管理が不十分で、住民による作業も困難なため、雨水処理の修理及び根本的対策を要望する。

質問4(1)の回答と同様に樹木の伐採と合わせて、地すべり対策の施設維持管理が適切に行われるよう沖縄県に要請します。

併せて、土地所有者に対しても適切な維持管理を行うよう促してまいります。

質問6 南風原バイパス橋桁下の利用について

車を2台以上保有している世帯が多く、駐車スペースが足りていない。そのため住宅前道路等へ駐車を余儀なくされているが子どもの通行に危険であるが利用可能な空き地がなく困っている。

(1)南風原バイパス完成後、橋桁下駐車場として活用できるよう調整できないか。

南風原バイパス橋桁下の利用については、道路管理者である南部国道事務所の道路占用許可が必要です。

桁下空間の利用で特定の地域に限って駐車場として活用することは、厳しいと考えます。

質問7 交差点の停止線とカーブミラーの設置について

ハイツ東側入口の交差点にある停止線の位置が不適切で、住民が左折・右折できず不便である。また、大名方面に抜ける道路で、新川方面から下る車が見えづらく、視界に入るときはすでに接近しており事故も多い。

(1) ハイツ入り口の交差点の停止位置を下げてほしい。

北丘ハイツ東側入口の停止線の移動については、交通管理者である警察より北丘ハイツ内の町道22号線が交通規制法の制限を受けなくなってしまうことから、交通安全上の観点から停止線の移動は認められないと回答を受けました。

しかし、生活道路安全対策協議会での検討結果や、北丘ハイツからの車両が出られず歩行者等を阻害している状況が確認されていることから、令和6年10月にスムーズな合流地点としての対策の実施を南部国道事務所に要請しました。現在は、「おゆずリエリア」の路面標示にて対策を実施予定です。

質問 7 交差点の停止線とカーブミラーの設置について

(2)大名に抜ける交差点へのカーブミラーの設置やスピード抑制など、早急な安全対策を要望する。

相談箇所については、現地を確認したところ視認性の確保はされているものの、スピード超過の車両が多く、危険性の高い交差点であると認識しております。

そのため、町道 38 号線から町道 22 号線に向けての横断歩道付近において、スピード抑制を図る安全対策実施の要請を南部国道事務所に要請しております。スピード抑制の対策として、「ドットライン」や「歩行者注意」の路面標示での安全対策を現在検討していると伺っております。スピード抑制対策後においても危険性が高い事が確認された場合において、カーブミラー設置の検討を行います。

質問 8 運動公園のパトロール強化について

6 月 18 日に運動公園内ベンチの破壊があり与那原署と確認をした。また与那原署から町に防犯カメラの設置をお願いするとあった。また、公園付近で児童への不審者事案が発生している。

(1)住民の安全確保のため、防犯カメラの設置とパトロール強化を要望する。

各自治会が管理している公園における防犯対策としての防犯カメラ設置につきましては、各自治会での対応となっております。防犯パトロールにつきましては、与那原警察署に公園周辺におけるパトロールの強化を要請してまいります。

質問 9 広報活動の強化と掲示板の設置について

ハイツ内に設置されている掲示板 4 面のうち、使用可能なのは 2 面のみで住民に情報が告知できていない。また、使用可能な 2 面についても保護ガラスがなく、風雨により掲示物が損傷している。掲示板については全額町補助で設置できると聞いたため、新設や補修等で広報活動の強化をしたい。

(1) 掲示板の新設と使用不可の掲示板 2 面の修繕を要望する。また、使用可能な 2 面も含めて保護ガラス等をつけることができないか。

掲示板の新設及び修繕は、町の予算にて整備行っており、自治会長と調整のうえ、対応してまいります。

なお、保護ガラスについては、破損時の安全性や維持費等において課題があることから、木製での整備を基本としております。

質問 10 子ども会再開と支援について

数年休止していた子ども会を今年度から再開し、現在約 20 人の児童生徒が参加しているが、町子連（町子ども会育成連絡協議会）の活動が停滞している。今後も子どもたちの居場所づくりを進め、活気ある活動とするため他の参加地域も一緒に盛り上げてもらいたい。

(1) ハイツの子ども会を盛り上げるためにも町子連を活性化させてほしい。

町子ども会行事として、8 月に渡嘉敷島でのインリーダー研修や 9 月に親子野球大会、年度末に子ども会まつりなどを予定しております。行事などへの参加を通じて北丘ハイツを含めて他地域の活性化を図っていきたいと考えております。

質問 1 1 高齢者が働ける場所の提供について

ハイツ住民は高齢化が進んでいるとはいえ、まだまだ元気なお年寄りが多い。老人の働く場所の提供ができないか。

(1)他市町村のように南風原町にもシルバー人材センターを作ってほしい。

他市町村のシルバー人材センターの運営は、受託業務で成り立っており、その約6割が公共からの依頼によるものです。公共業務の主な内容は資源ごみや粗大ごみの収集・分別、公園や道路等の清掃であり、本町はそれを福祉施設の「ワークプラザ南風」や台風経過後等緊急時でも対応できる「すぐやる班」が実施していることから、現時点でシルバー人材センターの設置は考えておりません。

質問 1 1 高齢者が働ける場所の提供について

(2)高齢者が働ける場所があるか。また、すでにある場合は分かりやすい広報と参加の機会づくりを要望する。

町社協で実施している一般的な家庭等からの草刈、清掃等日常的なサポートを行う「まちづくりサポートセンター」、産業振興課の「雇用サポートセンター」、またハローワーク那覇のシニア世代を対象とした「生涯現役支援窓口」をご案内しています。今後も分かりやすい広報等に努めます。

質問 1 2 ハイッ内通学路の整備について

ハイッ内は北丘小児童の通学路として利用されており、狭い道にもかかわらず特に北丘小階段付近は車の乗り入れや駐車が多い。児童生徒が通るため危険である。通学路の整備をしてほしい。

(1)スピード抑制や注意喚起を示す通学路の整備をしてほしい。

北丘ハイッ内の生活道路については、令和 5 年度に地域代表（区長や自治会長）、学校長、支部 PTA 会長、町、国、県、警察で構成された生活道路安全対策協議会の中で、対策内容を策定しました。具体的な対策内容としては、北丘ハイッ内に学校へ送迎するための車両が進入していることから、車両の進入を抑制し、歩行空間の確保をするために、ハイッ入口交差点にハンプ(※)の設置とハイッ内にグリーンベルトの対策を計画しております。

※ハンプ：通過車両が自然と減速するよう道路に設置する段差上の盛り上がり

質問 1 2 ハイッ内通学路の整備について

(2)ハイッ内交差点の停止線が消え、優先が分からず危険であるため整備してほしい。

現場の状況を確認いたしました。停止線の整備につきましては、交通規制に関わる事項になりますので、与那原警察署に要請してまいります。